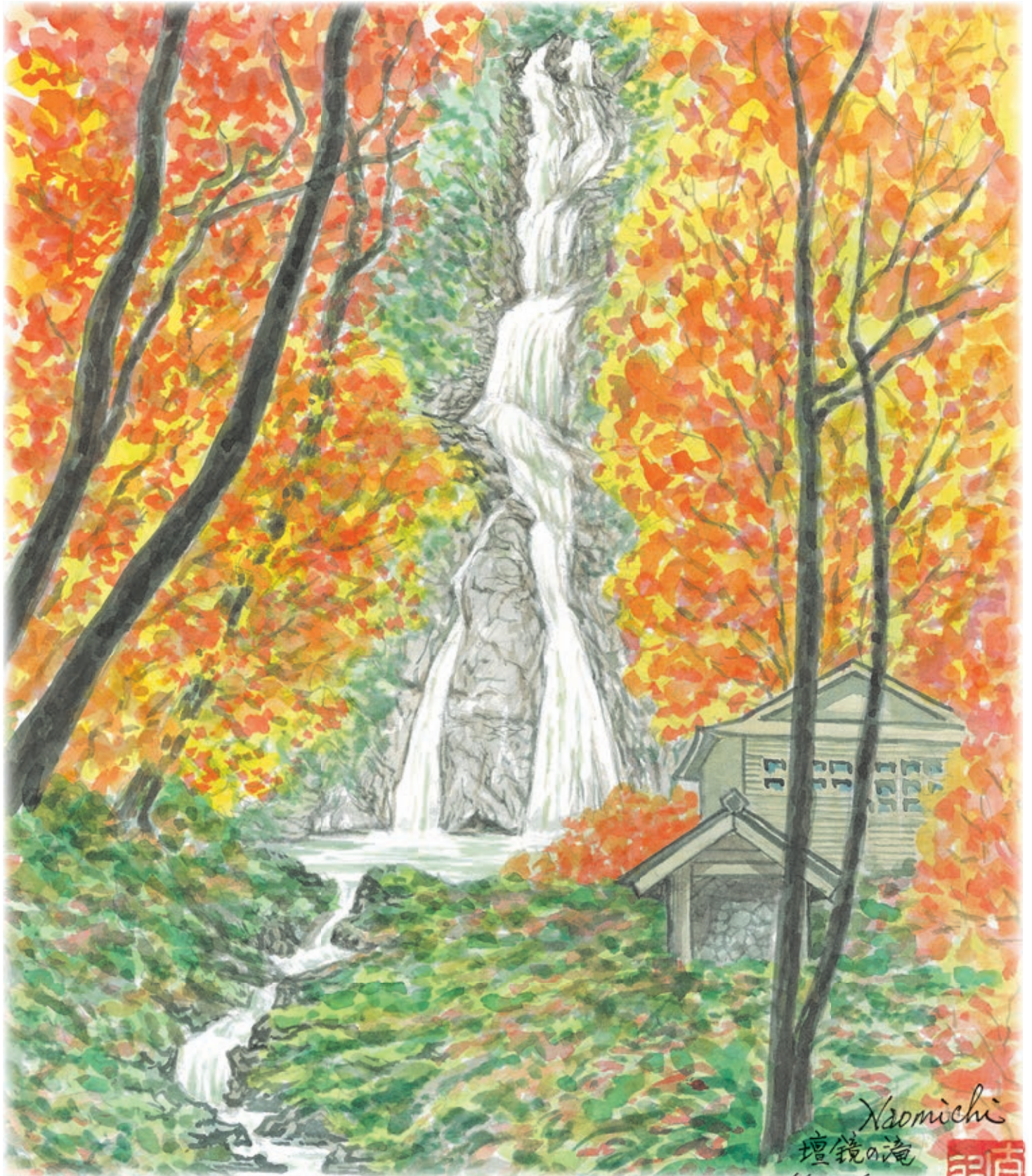


2017

# JAしまねびより 12

December Vol.21

特集 島根のいいもの再発見!! 「米粉煎餅」 隠岐地区本部



Naomichi  
壇鏡の滝  
(隠岐の島町)





島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの**の再発見!!  
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

## 【米粉煎餅】

12月は、隠岐地区本部。隠岐郡の島後、隠岐の島町で農業参入し、水稻栽培から米粉煎餅（せんべい）作りまでの6次産業化に取り組んでいる、勝部表装有限公司、勝部義弘さんにお話しをお伺いしてきました。



生産から商品開発まで、勝部さんの思いは膨らむ

### 農業参入した、きっかけを教えてください

本業は内装仕上げ工事業で、携わって35年になります。平成22年に10アールほどの水田を借りて趣味で稲作をはじめました。そうしたことろ、担い手不足や高齢化などの理由で、だんだん隣の水田の方や周りの皆さんから「ウチの田んぼもやってもらえないか」と言われるようになり、どうせやるなら事業として参入してみようと決意しました。地域や行政、JAさん



白小豆など適材適所で様々な農作物を栽培



栽培委託や耕作放棄地を借り上げるなど、栽培面積は年々増えているという

### 水稻栽培を始められた感想はいかがですか？

の協力のもと、今年で7年目になります。水稲を中心にソバや白小豆など栽培、現在は約20ヘクタールの農地で生産するまでになりました。

作業自体は機械がありますし、本業の工事業での様々な経験も活かしながら、試行錯誤の中で栽培面積を増やすことができました。私が管理する圃場は、島内のあちこちに点在しているので、移動時間が掛かりますが、中間地点に農機具倉庫を借り、加工場を設けるなど、なるべく作業が効率的に行えるよう工夫しています。また近年、内装工事が以前ほど多くないという中で、草刈りなど社員6人の



栽培面積も増え、繁忙期には社員総出で作業にあたることも





若手がそれぞれの役割を担ってくれてとても助かっていると、勝部さん

空いている時間の労働力も活用しました。男性は主に草刈りや収穫など、女性社員には商品の選別や袋詰め作業などを分担してもらっています。最初の収穫の際、1・85ミリのふるいに落ちる規格外のお米が、ほとんど値段が付かないことを知り、その上そのお米が3〜4トンの量になることも分かり、なんとかしなければ事業として成り立たないと痛感しました。この問題をなんとか解決しなければという想いから、アンテナを張り巡らし、セミナーなどに積極的に参加していたところ、



内装業のノウハウを活かし、加工場等の施設も自前で

四国で煎餅にプリントしてある商品を見かけました。そこで米粉を使って煎餅ができないものかと、6次産業化に取り組みことにしました。

### 6次産業化を決意し、米粉煎餅を作り始めて、大変なことや感じたことはありますか？

まず米粉を使って煎餅自体をどうやって作るのか、とくにつなぎに何をええばうまく出来るのかに時間を要しました。商品を開発する際、小麦などのタンパク質を含む原料を使用しない、グルテンフリー



様々な設備を導入し、付加価値をつける工夫を

という付加価値にこだわることにしたので、トライアンドエラーで試作を繰り返しました。平成25年に試作を始め、海に囲まれた隠岐の海産資源の一つ、イカをつなぎにすることに成功し、煎餅が完成しました。平成26年に国の6次産業化総合化事業計画の認定を受け、島の観光地等の写真を特殊な専用プリンターで煎餅にプリントすることで、隠岐のお土産や記念品、イベント用などとして販売することにしました。島のホテル等の宿泊施設、お土産店などで取り扱ってもらっています。

### 現状の課題や今後の展望を聞かせてください。

今のところ、煎餅の原料と

して規格外品のお米を年間約1トン使用しています。4倍の規模まで販売量を拡大しても、規格外品のお米がまだ余っています。まずは島民の皆さん誰もが食べているほどのローカルなお菓子として認知度を高め、島の皆さんに愛される煎餅作りを心掛けていきたいです。島外への販路拡大も必要なので、営業活動も続けていく必要があります。また米粉



島にこだわり、自家製粉で自家製麺米粉麺のデビューも間近!

力を入れていきます。移動の船で先方の社長との話がきっかけで始まった、隠岐酒造さんへ出荷するための山田錦も数年前から作っています。隠岐産山田錦100%使用の純米酒として販売されています。何よりも地元との繋がりを大切にし、農業を実践し、隠岐で愛される商品を作ること、結果的に島の景観保護や産業衰退の歯止めの一役を少しでも担えればと考えています。



仕込み間近の隠岐酒造さんの酒蔵を見せていただきました

## 米粉煎餅 一口メモ

6次産業化とは、生産（1次産業）・加工（2次産業）・流通販売（3次産業）を一体化した農林漁業の新たな展開で、国の政策として積極的な取り組みが行われている。地域ごとの資源を活かし農林漁業者が生産・加工・流通販売を一体化することや、2次産業と3次産業を連携し、新しいビジネスの展開や営業形態を創り出し、農山漁村の雇用と所得を確保することを目指している。日本の農林漁業では競争力強化や従事者の確保が喫緊の課題。成長産業へと再び導く「6次産業化」への期待は高まっており、今後の日本の農林漁業のカギとなるのか注目されている。

◆◆お問い合わせ先◆◆

勝部表装有限会社

[TEL] 08512-2-3065

[E-mail] katsube-3318@alto.oce.ne.jp

[Web] <http://katsubehyousou.com>

雲南

## 出来立て頬張り 「甘くて美味しい」

JAしまね雲南女性部大東支部は11月22日、雲南市立西幼稚園でJAしまね大東支店の支店長や支店職員、地域の方と協力しポン菓子作りを披露しました。園児は米を使った昔ながらのお菓子作りを楽しみました。

食育活動と米消費拡大を呼び掛けようと、女性部員が地域の協力を得て3年前から実施。同支部長の高橋美佐子さんは「JAと地域を繋ぐ活動にもなっている。子ども達に関心を持ってよう続けていきたい」と話しました。

園児はポン菓子機が「パーン」と大きく爆発する所で、耳をふさいだり歓声をあげたりして大盛り上がり。砂糖蜜をかけ、混ぜ合わせる際には「おいしくな一れ」と掛け声を合わせて完成させました。出来立てを頬張り「甘くて美味しい」「7回も食べたよ」と笑顔で話しました。



支店長からポン菓子を受け取る園児

隠岐

## 米生産者産地交流会

隠岐地区本部管内で11月21日、北海道空知郡奈井江町のJA新すながわ管内の「ゆめぴりか生産協議会」から4人の生産者が「島の香り 隠岐藻塩米」の産地視察に訪れ、産地交流会を開きました。

交流会では、隠岐の島町水田営農経営研究会藻塩部会から隠岐藻塩米の生産者8人を交えた研修を行い、お互いの取り組みについて説明した後、意見交換をしました。その中で、お互いの産地間で生産規模の違いや気候の違いから、栽培品種や栽培方法も大きく違いがあることについて驚きをもって知ることができ、お互いの生産状況に理解を深めることができました。

研修会後には、懇親会を行い、親睦をよりいっそう深めることができました。



くにびき

## くにびき農業法人会 児童養護施設に新米寄贈

くにびき地区本部管内の14組織で構成するくにびき農業法人会（岸本定朝会長）は11月2日、松江市古志原5丁目の児童養護施設双樹学院（小林康熙院長）へ地元産のコシヒカリの新米135kgを贈りました。

同会は、地域貢献活動の一環として、2011年から、各組織に米の提供を呼び掛けて同学院に新米を寄贈しています。

当日は、農事組合法人やわたファームの青砥忠一組合長と農事組合法人佐々布農産の三島正氏が代表して訪問。天候状況や作柄について説明し、新米10kg入りの袋を小林院長に手渡しました。

小林院長は「皆育ち盛りで、ご飯をよく食べるので寄贈はとてもありがたい。食育という観点からも地元産のコシヒカ리를おいしく食べさせていただきたい」と謝辞を述べました。



新米を受け取る小林康熙院長（左）

やすぎ

## 美味しい美味しいやすぎの苺

やすぎ苺部会は11月15日、共選品目の苺の出荷をスタートしました。品種は紅ほっぺ・章姫・かおり野の3品種を予定しており、同部会は7日に市場関係者や市の普及員を招き、H29年産苺出荷会議を開催しました。JA職員による作付状況や出荷計画等の説明、市場関係者からは現在の市場情勢等、普及員による気象データ、今後の管理についてなど様々な意見交換を行いました。

今年は全国で大型台風の影響による被害や天候不良がありましたが、やすぎ産苺の生育状況は順調で今年も美味しい苺を出荷しています。同部会長の遠藤孝さんは「やすぎの美味しい苺を皆さんに食べていただきたい」と意気込みを語りました。



H29年産やすぎ産苺



## 斐川

### 斐川ぶどう生産者大会を開催

斐川町ぶどう生産組合と斐川地区本部は11月7日、出雲市斐川町の出雲空港ホテルで、今年共販60周年を迎える「平成29年産斐川ぶどう生産者大会」を開催しました。併せて平成29年産ぶどう優秀者表彰式も行い、来賓、生産者、市場関係者35人が参加しました。

大会では、大阪中央青果(株)の中川勝弘取締役副社長を講師に招き「消費者から求められるぶどう作りについて」と題して講演。「大切なのはおいしいぶどうを継続して生産すること。その為の観察力を磨くことが大事である」という中川副社長の話を聞き、参加者全員でぶどう生産に対する意識を高めあいました。

■優秀者表彰受賞者は次の通りです。

最優秀賞（出雲市長賞）矢野恵司

優秀賞（斐川町地域農業再生協議会長賞）才木薫

優良賞（斐川町ぶどう生産組合長賞）佐藤信男、佐野俊明

特別賞（JAしまね斐川地区本部長賞）宇都宮汰



受賞された皆さん

## 隠岐 どうぜん

### 産直事業の視察研修を実施

隠岐どうぜん地区本部は10月24日、産直事業を始めてから初となる地区本部管外への視察研修を行いました。西ノ島支部会員11人、知夫支部会員2人、担当JA職員2人の15人が参加しました。

当日は天候が悪く高速船が欠航となり、フェリーでの移動となったため、現地滞在時間が短くなってしまい残念でしたが、研修先であるJA斐川地区本部のグリーンセンター内を見学した後、斐川管内の北脇一夫氏の畑を視察しました。きれいに栽培管理されている農作物や整備された農機具、整理整頓された農業倉庫など、取組み姿勢を含め学ぶところの多い視察となりました。

現場視察後は、本店米穀園芸部の須山一部長補佐から、商品として出荷する際の留意点などの講習を受け、中身の濃い研修となりました。



## 石見銀山

### 畜産農家にWCS供給

県、市、JAなど関係機関で組織する大田市耕畜連携推進協議会は、大田市管内および近隣の畜産農家への、WCS(ホールクroppサイレージ)の供給を進めています。11月17日現在まで、13戸へ、400本の供給を完了しました。

平成29年は7人の生産者が、早生WCSの「夢あおば」「たちあやか」、晩生WCS「たちすずか」計13.4畝を栽培。11月上旬に刈取りを終え、計1,284本のWCSを生産しました。JA出資組合法人「ほなみ」の職員が日々、運搬作業をしており、配達先の畜産農家からは「飼料の食い付きが良く、牛が良く育つ」と好評で、リピーターも続々出ています。

石見銀山地区本部管内では、畜産農家の自給飼料の確保、米の生産調整における転作作物として期待し、平成28年より、WCSの作付けを開始。島根県の「がんばる地域応援総合事業」、JAしまねの「農業振興支援事業」を活用し、ラッピングマシンなど農業機械を購入し、WCSの普及に努めました。



WCS(ホールクroppサイレージ)を積載車に積む作業員

## 出雲

### いずも食材の日 ラピタと連携して干し柿体験ツアー

出雲地区本部は11月4日、生産者・販売者・消費者が一体となって地産地消を推進する「いずも食材の日」の取り組みとして「干し柿体験ツアー」を開きました。生活購買店舗ラピタで2,000円以上の買い物をした人を対象に参加者を募集し、抽選で15人（7組）を無料で招待しました。

参加者は、平田柿選果場で選果や箱詰めの様子を見学した後、JAしまね出雲平田柿部会の奥秀男さんのほ場で柿の収穫を体験。大きくてきれいな平田の西条柿に驚きながら、干し柿作り体験で使う西条柿を、自ら収穫しました。

干し柿作り体験では、JA販売開発課の職員が講師となり、皮のむき方や、紐へのつなぎ方などを説明しました。紐につないだ柿は、おいしい干し柿になることを期待しながらそれぞれが家に持ち帰りました。

当日は試食用として、今年からJAしまねのブランドとしてパッケージを一新した干し柿「島根あんぼ」や、西条柿の合わせ柿、甘柿の太秋も用意。参加者は「試食のあんぼ柿がおいしかった」「出来上がるのが楽しみ」と話しました。



紐につないだ柿を持って記念撮影



## 西いわみ

### 飯田健康モデル協議会 研修旅行を開催

益田市飯田町の専業農家で作る健康管理の会、飯田健康モデル協議会（会長有福良一）は11月7日、研修旅行を行いました。

この日は、広島県福山市の㈱エフピコ福山リサイクル工場で使用済みトレーが再生原料になるまでの工程、スーパーマーケット等から回収された使用済みトレーを選別する様子を見学しました。㈱エフピコでは地球環境に配慮した取り組みだけでなく、機械では処理が難しい選別作業に障がいのある従業員の力を活用し、雇用の機会を広げています。

有福会長は「自分の家で出たトレーをきれいに洗い、リサイクルできるトレーはゴミに出さずスーパーの回収ボックスに入れるようみんなで心がけていこう」と話しました。



## 本店

### 総合力の発揮で 地域農業の発展めざす

JALまねは11月16日、横浜市で開催された「TACパワーアップ大会」で「TACTップランナーズJA表彰」と「JA特別表彰（事業承継部門）」を受賞しました。

「TACTップランナーズJA表彰」は、過去の大会で3回以上JA表彰を受けたJAが対象となる賞で、当JAは合併前の旧JAいわみ中央の受賞をはじめとした旧JA単位での6回の受賞と、合併後の受賞で計7回JA表彰を受けており、地域の課題解決に向けてJAが総合力を発揮して継続的に対応していることが、全国の規範となる活動として評価されたものです。

また、JA特別表彰では、地域農業の発展に向け、事業承継の業務フローを明確にして、若手農業者に加え集落営農組織にも対応していることなどが評価されました。

JALまねは今後も、農業者の所得増大や農業生産の拡大の実現に向けて取り組んでまいります。



## 島根おおち

### 鴨山駕籠かき大会に出場

島根おおち地区本部邑智支店は11月12日、邑智郡美郷町で開催された産業祭「みさとふるさとまつり」のメインイベントである「鴨山駕籠（かご）かき大会」に出場しました。

第35回目となるこの大会は、4人もしくは5人1組で、自作のかごに40キログラム程度の肥料袋（女子チームの場合は20キログラム程度）を乗せ、かごを担いで約2キロメートルを走り、ゴールまでの速さと、かご・服装のアイデアを競います。邑智支店では、第1回目から出場し、35年連続の出場となります。

今回のかごのテーマは、来年4月に廃線となる三江線。歴代の車体をモデルに、3両の三江線の車両を業務終了後に集まった職員で約2週間かけて作り上げました。

大会は、町外からの参加もあり13チームが出場しました。職員は、車掌や機関士、鉄道ファンに仮装してかごを担ぎ、沿道のあたたかい声援を受けながら走りきり、アイデアの部で第一位を受賞しました。



## いわみ中央

### 女子大OGグループが 料理教室を開催



JA女子大学2期生OG会オリーブは10月26日、いわみ中央地区本部調理室で料理教室を行いました。メンバー7人が全員参加し、きのこごはん・里芋コロッケ・味噌玉のお味噌汁の3品を作りました。今回のメインは「味噌玉のお味噌汁」です。今年の2月に自分たちで作った味噌を持ち寄り、ラップを広げ味噌を置き、だしや好みの具材をのせ包むと味噌玉の完成。沢山作った味噌玉はお土産になりました。中には、黒大豆で作った味噌もあり、白大豆との味比べを楽しみました。

手際よく作業をすすめながらも、1ヶ月ぶりに集まったメンバーは話も弾みます。出来上がった料理を試食しながら「里芋のコロッケ初めて作った。舌触りが滑らかだね!」と話したり、来月の親睦旅行について相談したりと、話は尽きませんでした。

参加したメンバーは、「今年は夏が暑かったから味噌の出来が心配だったけど、今までで一番おいしい味噌が出来たね」と手作り味噌にも大満足でした。





# 平成29年度 島根県種畜共進会を開催

平成29年10月21日（土）に島根中央家畜市場で開催し、県内各地域から選抜された肉用種牛44頭、乳用種牛30頭、合計74頭を比較展示し、改良の成果や飼養管理技術を競い合いました。心配された天候もなんとか持ちこたえ、多数の来場者があり、盛況となりました。

グランドチャンピオンには、肉用種牛の部では第4区（成雌牛）の大田市 二柿真悟さんの出品牛が、乳用種牛の部では第6区（経産牛B）の出雲市 永瀬哲也さんの出品牛が選ばれました。

また、JA女性部和牛審査競技会も同時に開催し、和牛審査眼を競い合いました。高等学校とJA女性部から合わせて5チームの出場があり、島根県立 矢上高等学校が優勝されました。

各受賞結果は以下のとおりです。

## 種畜共進会 受賞結果

受賞区分	第1部（肉用種牛の部）			第2部（乳用種牛の部）		
	出品No.	市町村	氏名	出品No.	市町村	氏名
グランドチャンピオン	39	大田市	二柿 真悟	602	出雲市	永瀬 哲也
第1区首席	/	/	/	101	出雲市	永瀬 哲也
第2区首席	/	/	/	206	出雲市	河村 保志
第3区首席	21	雲南市	角折 羊子	301	出雲市	和田 健敏
第4区首席	39	大田市	二柿 真悟	401	奥出雲町	若槻 隆
第5区首席	92組	大田市	森 徳行	503	出雲市	河村 保志
第6区首席	/	/	/	602	出雲市	永瀬 哲也

## JA女性部和牛審査競技会 受賞結果

受賞区分	地区本部	名称
優勝	高等学校	島根県立 矢上高等学
準優勝	雲南	SAKURA姫
第3位	高等学校	島根県立 出雲農林高等学校C
第4位	高等学校	島根県立 出雲農林高等学校A
	高等学校	島根県立 出雲農林高等学校B
最優秀選手賞	高等学校	島根県立 矢上高等学校 甲山 美紀
敢闘賞	雲南	SAKURA姫 朝山 節子



第1部グランドチャンピオン  
大田市 二柿真悟さん(左)  
同 次席  
大田市 森 徳行さん(右)



第2部グランドチャンピオン  
出雲市 永瀬哲也さん



JA女性部和牛審査競技会  
優勝  
島根県立 矢上高等学校の皆さん

## JAバンクをご利用のお客さまへ

# ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。  
このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。  
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年(2018) 1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

### 休止させていただくサービス

- JAバンクのATM
- JAネットバンクサービス
- コンビニ等のATM
- デビットカードサービス



### 現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

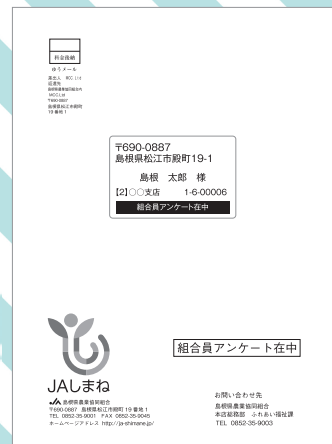


<http://www.jabank.org/>

## 組合員アンケート調査へのご協力をお願い

JALしまねでは、組合員のニーズやJAとの関わり方に応じたよりよいサービスの提供や取組みのレベルアップを行うため、無作為に選ばせていただいた組合員の皆さま6,000名を対象にアンケート調査を実施させていただくことといたしました。

12月中旬に、対象者の皆さまに「郵送」によりアンケート調査票をお送りいたしますので、お忙しいこととは存じますが、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。





イベントの秋!

みんな集まれ!!

くにびき地区本部

エコロ祭開催!

かわつ ふるえ やくも たまゆ

来場者に餅をまく  
川上悟司副本部長「エコロたまゆ」



子ども達は動物と楽しく触れ合いました＝エコロかわつ



ちよりすも登場して盛り上がる子ども達＝エコロふるえ



米のすくい取りに挑戦する来場者＝エコロやくも



子どもの図画作品の展示もありました＝エコロやくも



元気なよさこいを披露!＝エコロたまゆ



真剣な表情で米をすくう来場者＝エコロかわつ

くにびき地区本部では、11月19日、23日に川津、古江、八雲、玉湯の4地区でエコロ祭を開催しました。各支店の運営委員会や産直出荷者協議会、農政会議などが、「農」と「食」の恵みを提供することで、地域の交流と活性化を図るために企画。各地区とも多くの来場者でにぎわいました。当日は、豚汁の無料配布をはじめ、新米のすくい取りや餅まきなどが行われました。

特に豚汁の配布では、各地区とも多くの人が列をなし、スタッフが仕込みと調理に追われていました。また、趣向を凝らした企画も実施。エコロかわつでは、「ふれあい動物園」と称して、ヤギやウサギたちと触れ合うことができる場を提供。エコロたまゆでも、犬と触れ合いながら、えさをあげられる「わんわんふれあいコーナー」を設け、子ども達が動物とのふれあいを楽しんでいました。

エコロやくもでは、米のすくい取りのほか、来場者に体を芯から温めてもらおうと、特製ぜんざいを振る舞いました。エコロふるえでは、きねつき餅の実演販売や住民有志による「秋鹿音頭」が披露され、会場を大いに盛り上げました。来場者はそれぞれ購入した物を小脇に抱えながら、イベントを満喫。エコロふるえの会場にいた女性は「野菜や花をいろいろ買えたし、豚汁もおいしかった。会場で久しぶりに会えた人もいたのでよかった」と笑顔で話しました。



# 松江農林水産祭が開催

地元産の野菜、果樹、魚介類が多数出品!



松江市農林水産祭(同祭実行委員会主催)が10月29日、松江総合運動公園であり、約2万5千人の家族連れや地域住民が、地元産の農産物や魚介類を買い求め、各種イベントを楽しみました。

開会式では、松浦正敬松江市長が「地元にはこんな素晴らしいものがあるのだと、再確認してほしい。雨の中ではあるが、1日ゆっくと楽しんでいただきたい」とあいさつして開幕。

会場では、農林漁業の各団体や生産者の店が並び、野菜や果樹、花卉のほか、干物や佃煮などの水産加工品などを販売。くにびき青年連盟は和牛串と焼きおにぎりを販売し、くにびき女性

西条柿を購入する来場者

部も芋だんご汁やコーヒ、手作りクッキーを販売しました。天候はあいにくの雨模様でしたが、出店者は威勢のい



恒例のもちまきは大勢の来場者でにぎわいました

い掛け声とともに、地元産品をPR。牡丹の苗木やしじみ汁の無料配布、米のすくい取りなどのイベントには、長蛇の列が並びました。特設ステージでは、地元を拠点に活動するよさこいグループ「南中ソーラン踊り隊 絆」が、迫力満点のよさこいを披露するなど、会場を盛り上げていました。

松江農林高校3年生の大坂(はやくと)さん(18)は「卵かけご飯がおいしかった。いろいろな野菜が売っていておもしろかった」と話しました。また、友人と訪

れた松江市内在住の女性(78)は「いろんな果樹の苗を買うことができました。女性部の方が用意してくれたコーヒがおいしかった」と、祭りを楽しんだ様子でした。



▲和牛串を焼く盟友



新米のすくい取り

## 宍道町産業祭 地元農産物など販売

地元農産物や地元企業の商品が一堂に集う「宍道町産業祭」が11月5日、宍道支店駐車場で開催されました。会場には組合員や地域住民が多数訪れ、買い物や米のすくい取りなどを楽しみました。

地域の交流促進と地元企業のPRを図ろうと、まつえ南商工会、宍道支店運営委員会、松江市農政会議宍道支部、産直出荷者協議会などが、毎年開催しています。

地元の生産者が丹精込めて育てたサツマイモや白菜、柿などが陳列。来場者は競う様に買い求めました。



地元産農産物を買求める来場者

この他にも、くにびき女性部宍道支部が作った餅や、宍道角道協会による特製ちゃんこ鍋の販売、松江市農政会議宍道支部のコシヒカリのすくい取りや地元の子ども達による歌の披露もあり、会場は盛り上がりました。



一生懸命、餅を丸めていく女性部員



米のすくい取りに挑戦!



# くにびきキッズ サッカー大会開催！

ボールを追いかけて友情を深める

「第15回くにびきふるさとふれあいカップキッズサッカー大会」（主催…くにびき地区本部、共催…一般社団法人島根県サッカー協会松江支部）を11月11、12の両日、松江総合運動公園で開催。松江市内の20チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

大会は、サッカーを通じて子どもたち同士が友情を深めながら、明るく健やかに成長することを目的に毎年開催。参加するのは小学4年生以下の選手で、8人制の15分ハーフ。20チームを4グループに分け、決定戦や総当たり戦で各グループの順位を決めます。

開会式では、栗原令本部長が「曇って寒さもありますが、ケガをすることなく、皆さんの実力を発揮できるような頑張ってください」と呼び掛けました。

初日は、持田・八束ピオニフットボールクラブの松本悠杏君による選手宣誓の後、キックオフ。子どもたちは、巧みなドリブルや強烈なシュートを繰り出したり、体をぶつけ合うほどの競り合いも見せたりするなど、日頃の練習の成果を発揮しました。得点が入るたびに、観戦していた家族やチームメイトからは熱い拍手と声援が送られていました。

予選の終了後には、支店長がゴールキーパーとなるPK勝負を行い、選手には参加賞を贈呈しました。

## 各グループ優勝チーム



Cグループ「ちどりフットボールクラブ」



Aグループ「内中原フットボールクラブ」



Dグループ「大庭ジュニアフットボールクラブ」



Bグループ「八雲スポーツ少年団サッカー部」



激しいボールの奪い合い



激しいボールの奪い合い



選手宣誓



支店長とPK勝負！▲



挨拶する栗原本部長



# だんだん健康 ウォーク大会

秋晴れにウォーキング楽しむ

くにびき地区本部は11月3日、約10キロのコースを巡る「第5回だんだん健康ウォーク大会」を開催しました。94名の参加者が、秋の景色を楽しみながらウォーキングに興じました。

同大会は、「健康寿命100歳を目指して楽しく歩こう！」とスローガンを掲げ、毎年秋季に開催しています。5回目となる今年のコースは、同地区本部を発着点とし、松江縁結び大橋を南に渡り、大橋川沿いを歩いた後、くにびき大橋を北上する道のり。

開会式では、栗原令本部長が「ケガな



くにびき地区本部本店前を元気にスタート



スタートの前の血圧測定



秋晴れの下、ウォーキングを楽しむ参加者=松江縁結び大橋

どないようにウォーキングを楽しんでください」と挨拶。JA厚生連による血圧測定と、松江ウォーキング協会の中尾禎仁事務局長の指導によるストレッチ体操で出発に備えました。

スタート後は、秋晴れの下、参加者同士で世間話をしたり、樹木の紅葉を眺めたりするなど、思い思いのペースで歩きました。コース途中の縁結び大橋の上では、普段見ることの少ない橋上からの景色に見入っていました。

祖父と参加した奥井虎龍くん(9)「東出雲町揖屋」は「縁結び大橋から見えた景色がきれいだった」と笑顔を浮かべ、門脇準さん(78)「西津田3丁目」は「丁度良い天候で歩いていて気持ちよかった。次も参加してみたい」と話しました。



ゴール後は女性部のだんご汁を食べました



笑顔でゴール!

## 秋空の下でプレー!

# 第1回くにびき本部長杯 ゴルフコンペ開催

くにびき地区本部は11月8日、「第1回JAしまねくにびき地区本部長杯ふれあいゴルフコンペ」を、出雲市の島根ゴルフ倶楽部で開催しました。雷雨でプレーが中断しましたが、参加者は秋の空気を味わいながらゴルフを楽しみました。

ゴルフコンペは、組合員、JA利用者の健康増進と交流促進を図りながら、JA事業への理解を深めてもらうとうと、同地区本部が初めて企画しました。

当日は21組78名が参加。珍プレー、好プレーもあり、互いに声を掛け合いながら、和気藹々とゴルフをプレーしました。終盤、強風と雷雨で、コンペは中断されましたが、ハーフの打数で集計。野白昇さんが初代優勝者に輝きました。

閉会式で栗原令本部長は「天候が荒れた場面もありましたが、ゴルフを楽しんでもらえたようで何よりです。ゴルフを通じて、JA事業への理解をより深めていただければ」と話しました。参加した男性は、「後半は雨で残念だったけど、知らない人と世間話しながらプレーできて楽しかった。また参加したい」と笑顔で語りました。



フェアウェイを狙ってスイング!



栗原本部長から表彰を受ける野白さん



# 「燦燦会」の定期総会が開催 企業関係者が交流を深める

139の企業、経済団体などで構成する「くまびき地区本部燦燦会」（松浦嘉昭会長）の第2回定期総会が11月13日、松江エクセルホテル東急であり、前年度の事業や収支の報告があったほか、本年度の事業計画など全議案を承認しました。

同地区本部が地元企業や経済団体との連携を深め、事業の発展を促す目的で、昨年11月に同会を設立。これまでに、営農施設見学や講演会などの各種事業を実施し、会員数も設立時より24会員増となりました。

当日は、94企業より121人が出席。松浦会長が「様々な活動を通じて会員同士の付き合いがより親しくなった。会の利便性をさらに高めていきたい」と挨拶。続いて、栗原令本部長も「139もの会員が情報交換し、交流を深めることが地域の発展につながる」と会の意義について述べました。

総会では、初年度の事業報告や収支決算を承認。本年度の事業計画では、引き続き会員相互の親睦や情報交換を行うとともに、JA事業や農業への理解促進に向けたPRも行います。

総会後の懇親会では、松江市出身の演歌歌手・小川たけるさんが登場し、松江の風景を歌った「ふたりの城下町」などを披露。会場を盛り上げました。参加した会員は「他業種とのつながりを持った。営農施設の見学を通して、農業への理解を深めることができ、参加してよかったと感じる」と話しました。

あいさつする  
松浦嘉昭会長



総会の様子



持ち歌を披露する  
小川たけるさん



## 自動車・農機の合同展示会 各種車両が勢ぞろい！



くまびき地区本部は11月18、19の両日、農機自動車センターで秋の合同展示会を開催しました。組合員や地域住民らが会場を訪れ、展示された車両の数々を見物しました。展示会は、組合員へのサービス向上や利用者の新規獲得などを目的に、組合員のニーズに応じた車種を取りそろえて毎年開催しています。

会場には、最新の農業機械や関連機械などのほか、自動車販売会社などから取り寄せた新車や中古車、タイヤなどを展示。特別企画として、各種タイヤを割引価格で販売したほか、フライドポテトの無料配布なども実施し、来場者をもてなしました。





中国・四国JA青年大会

安達隆行盟友が

優秀賞!

くにびき青年連盟の安達隆行盟友(本庄、36歳)が11月9日、愛媛県松山市で開かれた「平成29年度中国・四国JA青年大会」に、島根県代表として出場し、優秀賞に選ばれました。

安達さんは、8月の島根県JA青年大会で、各組織や盟友による活動実績の報告を行う「青年の主張」の最優秀賞に選ばれ、県代表として今大会に出場。各県から7名の代表も参加し、自身の農業への思いを語りました。

安達さんは「出会い」と題して、兼業農家となった経緯を説明。父親の死から、水稻栽培を始めたものの、なかなか上手く米を育てることができず、挫折しかけていました。

熱弁をふるう安達さん



そんな折、知人からの誘いを受けて青年連盟に参加したところ、他の盟友に農作業を手伝ってもらいながら、農業の知識を学び、農業の奥深さを体感。連盟が企画するイベントに参加して、農家同士のつながりと農業の魅力を発見しました。「仲間から農業を学び、自分の米は1等米として評価されるようになった。自分も成長でき、助け合いの精神も知ることができた」と結びました。



くにびき女性部  
重要文化財・八雲本陣  
と見学

くにびき女性部(中島和子部長)は11月17日と22日、目的別グループ活動・文化歴史教室の一環として、国が指定する重要文化財・八雲本陣(木幡家住宅)と、木幡山荘を見学しました。当日は、八雲本陣記念財団の木幡道子さんがガイドを務め、両文化財の歴史と由来を解説。江戸時代に建てられた八雲本陣は、旧街道に位置していることから、松江藩主の休憩場所として利用されていた歴史があることを説明しました。

八雲本陣から歩いて木幡山荘に移動した参加者は、引き続き木幡さんから説明を受けながら、樹齢数百年を超える樹木が生えた庭園を見学し、紅葉を満喫しました。

参加者は「近くに住んでいたけれど、初めて訪れた。素晴らしい歴史と文化財があることを知ることができてよかった」と語りました。



八雲本陣を見学する参加者

## 松江市農政意見交換会 地域農業の振興に向けて



松江市農政会議(上山根晴久会長)は11月9日、営農総合センターにおいて、市の執行部を招いて「平成29年度松江市農政意見交換会」を開き、地域の農業振興について意見を交わしました。

当日は、農政会議、JA、女性部、青年連盟などの組織・団体から約60名が出席。各組織の代表者から「圃場整備」「有害鳥獣対策」「後継者の育成」などをテーマに、それぞれ意見と要望を提起しました。

市産業経済部矢野正紀部長は提起を受けて、「幅広く意見を集約して、農業と農村の活性化に向けて、検討していきたい」と、答えました。

くにびき地区本部情報



# 門脇亮さんの「精の一世」 農林水産大臣賞を受賞

「平成29年度鳥根の花品評会」で、農林水産大臣賞に輝いた門脇亮さん（25）＝鹿島町名分＝が11月2日、くにびき地区本部の栗原令本部長と田中鈴木副本部長を訪問し、受賞結果と今後の展望について報告しました。

同品評会は、県内産の切花と鉢物の振興に繋げようと、鳥根の花振興協議会（坂本忍会長）が毎年開催。今年はシクラメンやトルコギキョウ、バラなどの合計128点が出品。この中から門脇さんの輪菊「精の一世」が、最高位の農林水産大臣賞に選ばれました。

門脇さんは平成25年に就農し、輪菊、ストック、葉ボタン、シンテツポウユリなどを中心に栽培してきました。同27年に初めて同賞



に選ばれており、今回は2度目の受賞となります。

審査員からは「6月下旬～8月下旬の高温、9月以降の低温と天候不順があつた中でも、花のポリウム、色のコントラストも良い」と評価されました。

栗原本部長は「農業の担い手が減る中で、大変なこともあるかもしれませんが、受賞を機にさらに頑張つて下さい」と激励。門脇さんは「天候が厳しい中での受賞なのでうれしい。慢心せずに今回のものに引けを取らない花を作つて、生産規模の拡大にも取り組みたいです」と語りました。



栗原本部長（左）・田中副本部長（右）と、賞状を手に笑顔を見せる門脇さん（中央）

## 子育て応援イベントが開催 家族連れが農・食・自然を楽しむ

くにびき地区本部は11月11日、教育文化センターSan・san館で、信用事業の利用者を対象としたイベントを開きました。多くの親子連れが参加し、クリスマスツリー作りやタマネギの苗植えを体験しました。

このイベントは、利用者との交流を図りながら、農、食、自然を体験できるもので、8月には2泊3日の日程で、広島県内をそば打ちや木工、果物狩りを体験するツアーを実施しました。

今回の企画には40家族150名が参加。クリスマスツリーの製作では、大庭町で観葉植物などの販売を手掛ける「デコレ」のスタッ

フが講師として参加。親子で協力しながら、葉や星型の飾りを、円錐形のスポンジに付けていきました。

その後、地区本部前の一角で、タマネギの苗植えを体験。「指の第2関節の深さぐらいで植える」という営農指導員からのアドバイスを受け、丁寧な手つきで苗を植えていき、5月の収穫に思いを馳せました。

子どもと参加した男性（34）は「すごく楽しかった。クリスマスツリーが上手く完成したので、玄関に飾りたい」と笑顔で話しました。

丁寧な手つきでクリスマスツリーを作る参加者



タマネギの苗植えの様子







# 平成30年産米「つや姫」栽培のご案内

くにびき地区本部では、JAしまね「島根米生産販売方針」でお示した主要品種の構成目標に向けて、「コシヒカリ」から「きぬむすめ」「つや姫」への品種転換を勧めており、平成29年産「つや姫」の作付面積は161haとなりました。

平成30年産に向けて、更に面積増大を図っていくため、「つや姫」の栽培希望者を募集いたします。

「つや姫」は栽培要件があり、要件を満たす方が栽培できますので、下記の要件を確認の上、栽培を希望される方はお申込みください。

## 栽培要件

- 1 つや姫を30a以上栽培できる生産者
- 2 特別栽培基準での栽培ができる生産者 (JAで定める肥料・農薬を使用)
- 3 JA系統への集荷・販売計画に協力できる方

平成30年産から新たに栽培を希望される方は、**12月29日(金)**までに営農経済部米穀畜産課へご連絡ください。

お問い合わせは  
営農経済部米穀畜産課 TEL : 55-3038

※平成29年産「つや姫」を作付された方には、作付確認の文書を送付いたします。

※平成30年産「つや姫」の栽培説明会は平成30年1月に開催予定です。案内文は、後日、送付いたします。

## 平成29年産米集荷状況

目標12万袋! 1袋でも多く  
出荷をお願い致します

平成29年11月27日現在

(単位:袋・%)

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	
			1等	2等	3等			
うるち	ハナエチゼン	14,092	12,327	5,610	6,272	445	45.5%	87.48%
	コシヒカリ	43,575	36,004	7,012	18,554	7,682	21.1%	82.63%
	きぬむすめ	36,288	31,145	12,603	13,147	3,059	43.7%	85.83%
	つや姫	18,608	22,162	14,365	4,739	653	72.7%	119.10%
	その他	0	108	36	72	0	33.3%	0.00%
	うるち計	112,563	101,746	39,626	42,784	11,839	42.7%	90.39%
もち	1,694	1,054	0	779	275	0.0%	62.22%	
合計	114,257	102,800	39,626	43,563	12,114	42.2%	89.97%	

※各品種の「しじみ米」は品種数量に包含しています。※各品種の数量には加工用米を包含しています。

加工用米	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比
			1等	2等	3等		
	3,196	2,971	894	1,714	363	30.1%	92.96%

目標数量	集荷袋数	目標数量対比
120,000	102,800	85.67%



## 地位貢献・地域活性化団体表彰

平成29年度 地域貢献・地域活性化団体活動表彰式

### くにびき管内からは2団体受賞

JAしまねでは「地域貢献・地域活性化事業支援金」を創設し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を表彰、普及支援し「地域力」の向上に努めています。

11月17日に地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を行い、10団体が受賞されました。当地区本部からは、下記の2団体が表彰されました。おめでとうございます。



団体名（構成者数）	代表者等（敬称略）	主な活動内容
NPO法人かみいとう (158名)	森廣 公一 (東出雲町)	田植えや稲刈り、とんど祭などの開催を通じて、世代間交流に尽力。また敬老会や70歳以上の男性を対象としたサロン会を開いている。地すべり等の危険箇所の点検、草刈り、竹林の伐採などの環境保全活動にも取り組む。
くにびき女性部 営農加工グループ (150名)	中島 和子 (西川津町)	種まきから収穫までを体験する講座、地元農産物を利用した料理教室など、食と農を基軸とした地域貢献活動を展開。平成26年度からスタートし、述べ108名の参加者となっている。「収穫したキュウリのぬか漬け」「手作りコンニャク」「無添加味噌」などを作成し、各種イベントでの提供を行った。



講師 林家うん平氏

第24回

# 家の光 愛読者の集い

参加者募集!

**とき** 平成30年1月20日(土) 10:00～15:00

**ところ** 島根県農業協同組合くにびき地区本部  
・営農総合センター ・教育文化センターSan・san館

【募集対象者】家の光愛読者を中心とし、女性部員、組合員、利用者等

【募集数】300名  
※定員になり次第締め切らせていただきます。

【申込締切】平成30年1月12日(金)

【入場料】無料

【申込受付】最寄の支店・店まで

【主催】島根県農業協同組合くにびき地区本部  
【協賛】一般社団法人家の光協会  
【後援】JAしまねくにびき女性部  
【事務局】総務部ふれあい課  
TEL:0852-55-3018 FAX:0852-32-6870  
Mail:community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

### 内 容

- 10:30～ 開会/主催者挨拶/来賓祝辞
- 10:50～ 【読み聞かせ】 JAしまねくにびき女性部
- 11:10～ 【ファッションショー】 手芸教室参加者
- 11:30～ 【ミニコンサート】 小川たけるさん
- 12:00～ 【昼食・休憩】
- 13:00～ 【講演】 講師 林家うん平氏  
「聞いて長生き! 笑って健康 健康人生バンザイ!」
- 14:30～ お楽しみ抽選会
- 15:00 閉会



# くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



## 古漬けを使った福神漬け

福神漬けとは、不忍池の弁財天にちなみ、種々の野菜を七福神に見立てたことから命名され、大根・茄子・なた豆・蓮根・生姜・紫蘇の実・筍などの野菜を細かく刻み、みりん醤油に漬けた漬物です。

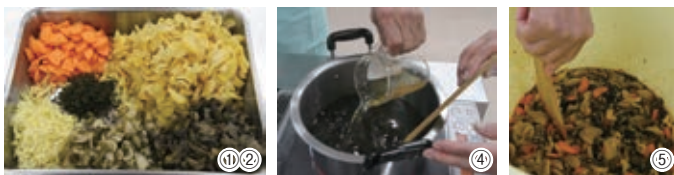
今回は、自家製の古漬けを利用した、香ばしくさっぱりとした味わいの福神漬けを紹介します。故郷のお母さんが作るなつかしい味。ご飯のお供に、酒の肴に最高ですよ。本物は、茶色なんです。

### 【材 料】4人分

- ・ダイコン・ウリ・ナス・キュウリ等の漬物  
これらを塩出ししたもの……………1kg
  - ・ニンジン……………適量      ・ショウガ……………50～100g
  - ・しそ穂……………適量      ・ゴマ……………適量
- 【調味料】
- ・濃口しょうゆ……………400cc      ・砂糖……………300g
  - ・みりん……………100cc      ・水あめ……………大さじ1
  - ・はちみつ……………大さじ2      ・酢……………100cc
  - ・だしの素……………5g

### 【作り方】

- ①古漬けを薄切りにし、塩出しをするため、一晩水につけてから水気を切る。
- ②ニンジンを薄く小口切りにし、ショウガはみじん切りにしておく。
- ③調味料を作る。鍋にしょうゆを入れ温め、砂糖、水あめを溶かしながら、はちみつ、だしの素を加える。
- ④煮立ってから酢を入れ、火を切る。
- ⑤冷めてから、①と②を入れて混ぜる。最後にしそ穂、ゴマを混ぜ漬け込む。



川津支部

今月の  
料理人

峯谷 晴子 さん (右)  
野津 正子 さん (左)



古漬けの水気をしぼる時、固くしぼらないと日持ちがしないので、ネットに入れて洗濯機で脱水した方が最適です！ 調味料は必ず冷ましてから漬物等を入れてください。漬けたら毎日混ぜてください。3日後味が食べ頃です。

参加者  
募集!

# サン●サン 料理教室

日時

2018年1月30日(火) 10:00～13:00  
※開催時間より開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部  
San・san館  
松江市西川津町1635-2

定番の冬野菜を使って超簡単! 漬物づくり  
エコープの酢を使い新しいメニューに  
挑戦しましょう!



## 1月のメニュー

- 定番の冬野菜を使って〈超簡単! 漬物づくり〉
- ★白菜の即席漬け      ★大根と人参のスティック漬け
  - ★ごぼうの酢じょうゆ漬け      ★エビとしば漬けの彩りちらし
  - ★きのこのとろみ汁
- (都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 20名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,000円(当日支払)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成30年1月22日(月)

お申込み/お問合せ

- ①住所②氏名③電話番号をご記入の上、はがきまたはFAX、Eメールでお申込みください。
- 〒690-0823 松江市西川津町1635-1  
総務部ふれあい課 サンサン料理教室係  
TEL: 55-3018 FAX: 32-6870  
アドレス: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp



あなたもJAしまねの組合員になりませんか

# 組合員 加入のご案内

～組合員加入促進運動実施中！～  
平成29年11月～平成30年2月末まで

## 組合員に加入できる方

- 島根県内に在住または勤務する方

## 組合員加入に必要なもの

- 出資金：1,000円以上（1口1,000円）
- 印鑑、本人確認書類（運転免許証等）

## 利 用

- JAの店舗やJAグリーン等でのお買物、各種事業でのご利用でポイントが貯まります。

## ポイントの使用

- 組合員の方は、祭壇料金10%割引。おおよそ会員にご加入の場合、最大19%割引。
- 下記のくにびき地区本部指定店でも会員優遇価格でご利用できます。

- こばやし（松江店、斐川店、三刀屋店）
- フジキコーポレーション（学園通り店、田和山店）
- 洋服の青山
- はるやま
- マリエ・やしろ
- 松江エフワン
- 三菱石油
- ハッピーランド三愛楽山SS



## ポイントの使用

- 貯まったポイントは、JAの店舗やJAグリーン、Aコープ等で使えるお買い物券への交換のほか、カタログから商品の交換ができます。



- お申込みは、各支店・店・出張所まで
- お問い合わせは、総務部 総務課まで TEL：0852-55-3000

(〒690-0823 松江市西川津町1635-1)



## お便りコーナー

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございます。いただいたおハガキの一部をご紹介します。

いつも楽しく拝見しております。寒さを感じるようになりましたが、柑橘系の作物がおいしくなる季節ですね。家でも柚子を植えており、食用入浴に使おうと、これから収穫を楽しみにしております。(Y・Hさん)

「地域の元氣人」の森廣治恵さんは本当にお元氣ですね。有名な東出雲の干し柿作り、商品にされるまでの苦労が大変だと思われまます。ご自分の好きなこと（民謡）で人々を笑顔にできるなんて、最高ですね。CDでもぜひ聞いてみたいです。(Y・Sさん)

何も作っていない畑・土地がいつぱいあります。年を取ってきたので、そういった所の草刈りなどが難しくなってきました。何か良い知恵がありましたら、教えて頂きたいです。(Y・Nさん)

10月号のふるさと料理「栗の渋皮煮」に挑戦しました。おいしく煮ることができ、孫たちと少しずついただいています。手間と時間をかけて、火の加減に苦労しましたが、おいしいと食べられるので、また難しい料理に挑戦しようと思いました。(Y・Kさん)



# 年末年始のATM稼働のお知らせ



12月31日～1月3日の間 取扱可能なATM

JAしまね 松江市内ATM設置場所

設置場所	稼働時間
松江テルサ	12月31日 9:00～19:00
	1月1日 9:00～19:00
	1月2日 9:00～20:00
	1月3日 9:00～20:00
イオン松江店	9:00～20:00
エコロかわつ店	9:00～20:00
生馬店	9:00～20:00
法吉支店	9:00～20:00
エコロふるえ店	9:00～20:00
津田支店	9:00～20:00
乃木支店	9:00～20:00
中原出張所	9:00～20:00
東出雲支店	9:00～20:00
エコロやくも店	9:00～20:00
エコロたまゆ店	12月31日 9:00～19:00
	1月1日 休止
	1月2日 9:00～17:00
	1月3日 9:00～17:00
穴道支店	9:00～20:00
八束支店	9:00～17:00

★1月6日(土)、1月7日(日)、1月8日(月・祝)はシステム休止のため、JAキャッシュカード・通帳取引は全国のJA・コンビニATMの全ての取引が休止となります。

## 今月の特選車

ダイハツ  
ミライース 4WD

(年式) 平成23年式  
(走行) 69,900km  
(車体色) スカイブルー AT  
(車検) 平成30年11月まで  
(車両本体価格) **550,000円(税込)**  
(諸費用別途)



※すでに売却済みの場合はご容赦下さい。

お問い合わせ先

自動車センター TEL: 55-3077

## お知らせ

12月17日(日)より、  
ヘルパーステーション事務所を  
移転いたします。

**旧** 〒699-0017  
松江市西津田3-5-16「津田支店内」  
電話: 0852-28-3040

**新** 〒699-0202  
松江市玉湯町湯町683-8  
「サン・エールたまゆ施設内」  
電話: 0852-62-8010  
FAX: 0852-62-0346



## おさいふカードポイント有効期限のお知らせ

平成27年に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限は平成29年12月31日までです。対象となるポイントは、店頭端末、支店窓口などで、ご確認ください。

## 1月 くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・備考
4	木	税務相談会	古江支店 TEL: 36-8157 10:00～12:00
5	金	税務相談会	乃木支店 TEL: 21-3758 10:00～12:00
10	水	税務相談会	玉湯支店 TEL: 62-1313 10:00～12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までお願いいたします。予約先:開催会場となる支店まで。

○くにびき地区本部金融部ローン営業センターでは、毎週土曜日(10:00～15:00)に休日住宅ローン相談会を開催しています。要予約。

◆お問合せは☎0120-988-380まで。

1月 ふれあい訪問日

1月17日(水)、18日(木)





# 魅力野菜で 自家菜園の 活性化を

板木技術士事務所 ● 板木利隆

一年の計は元旦にありといえます。正月を迎えるにあたって、とかくマンネリになりやすい自家菜園を活性化するために、来年お薦めしたい野菜の種類や品種、育て方などについて考えてみましょう。

## 早春から夏にかけて

一番育てやすく、冬から春まで長い間取れるのはナバナです。改良品種の「花飾り」などは耐寒性が強く花ぞろいも良く美味です。

3月植えのジャガイモは、小粒ながら黄金色で味の良い「インカのめざめ」「インカのひとみ」「インカルーシュ」の3兄弟で、話題性もあります。ピーマンは苦味や臭いが少なくキュートな小型で、子どもにも好まれる新品种「ピー太郎」、赤・黄・だいたい色をそろえ、平型の「フルーツパプリカ」などで新しい魅力が加わりました。

大型トマトを立派に作り上げるのは大変難しいですが、耐病性で育てやすくなった「ホーム桃太郎」「桃太郎ホープ」「麗容」などが味も優れています。

育てやすくよく取れる5月まきのつる性インゲンはぜひ取り組んでください。品種は古くから味に定評のあるインゲン「ケンタッキーワンダー」などです。しっかり交差させた支柱を立て、つるが伸び始めたら遅れずに支柱へ誘引し、半月に1回、少量の追肥をするだけで、朝夕2回、2カ月ぐらい収穫し続けられ、新鮮な格別な味を楽しむことができます。

## 夏から秋にかけて

夏の青物としては、強健で連作にも耐え作りやすい小松菜が一番のお薦めです。身近な菜園なら、抜き取り収穫だけでなく、株をそのまま残して、下の方の葉から1~2枚ずつ葉かき収穫すれば、数カ月以上も長い間収穫し続けることができます。「きよすみ」は強健で夏に強く美味。私の庭先菜園では6月まきで7月下

旬から実に8カ月間も取り続け、最後は4月初めにとう立ちしたものを、ナバナ同様におひたして食べました。

9月まきの小カブは、色白で色つやが良く肉質が緻密で味の良い「たかね」、大きくなってもし入りせず味の良い強健な「耐病ひかり」、上が赤紫色、下が白色でサラダや酢漬けに好適な「あやめ雪」などがお薦めです。ニンジンほ芯までオレンジ色になり甘さと風味に優れ、煮物やサラダにして彩りの良い「ベターリッチ」が魅力的です。

ネギは味を重視した品種を選び、自家菜園ならではの食味を楽しみたいものです。「九条太」を筆頭とし、「下仁田」「松本一本太」など全国的に在来系の味の良い品種があり、

それらを考え選ぶことが大切です。「あじばわー」(全農で筆者育成)は下仁田と湘南の交雑育種系で、その軟らかな味から直売用として評価されてきました。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



## タテのカギ



- ①画数を意識して付ける人もいます
- ③歯を抜くときにかけます
- ⑥乗り物を使わない移動手段
- ⑧マグロの身のうち脂の多い部分
- ⑨木偏に南と書くと
- ⑪読みかけの本に挟む物
- ⑬運転席の横にあります。自動車を止めておくときに引きまします
- ⑯手荒れ防止に——クリームを塗った
- ⑰損の反対語
- ⑱秒と時の間
- ⑲「領収書の宛名は?」「——様をお願いします」
- ⑳芸能人のサイン——が飾られた店
- ㉑雨交じりの雪のこと

## ヨコのカギ



- ①セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ……といえば
- ②平成30年は戊戌（つちのえいぬ）です
- ④通りのこと。メイン——
- ⑤白黒写真からは伝わらないもの
- ⑦レーズンと呼ばれることも
- ⑩米と水を入れてセットします
- ⑫男性の方がよく使う一人称
- ⑭ベトナムの通貨単位
- ⑮襟が緩んだり帯がほどけたり
- ⑰竹の幹にできる区切り
- ⑱彼女は満面の——を浮かべた

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1		9	13		18	21
			B		A	
		10		16		
2	6		14			
		7	11		19	
			C			
3		12			20	22
4	8			17		
5			15		D	

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1  
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
平成30年1月5日（金）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「トルコイシ」

1	ト	シ	コ	シ	ハ	タ
2	リ	ユ	ウ	シ	ナ	イ
3	オ	カ	コ	タ	カ	
4		ア	イ	コ	ト	バ
5	ハ	イ	ア	ナ	オ	
6	ト	サ	カ	カ	ヨ	ウ
7		ツ		フ	イ	ル

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## 健康散步 JA島根厚生連

# 冬こそ水分補給を!!

★**脳卒中、心筋梗塞予防に水分補給**  
冬場には脳卒中や心筋梗塞の発症が増えます。これは寒くなって血圧が上昇することもある原因です。水分補給も大いに関わっています。寒くなって汗をかきにくくなり、のどの乾きを自覚しにくくなる冬場は水分摂取が少なくなります。水分摂取が少ないと、血液の粘度が上がります。いわゆる「ドロドロ」の状態となります。ドロドロ血液によって血管が詰まりやすくなり、結果として脳卒中や心筋梗塞を引き起こす恐れがあります。脳卒中、心筋梗塞予防のためにも、冬場も水分補給が必要です。

★**風邪対策に水分補給**  
寒くなってくると、職場で、街中で、風邪を引いている人をよく見かけるようになります。風邪対策の王道であるうがい、手洗いに加えて「水分補給」も大事な予防策のひとつです。風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に活動します。反対に湿度50%以上になると活動が急激に低下します。水分補給は喉や鼻の粘膜をうるおしてウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。また、風邪をひいてしまったら発熱や食欲低下、下痢、嘔吐などの症状により体からの水分排出が多くなりますので、普段以上にきちんと水分を補給するようにしましょう。



職場でも家庭でも何かとあわただしい師走。唐突ですが、最近水分補給していますか？冬は夏ほど汗をかきたくないのに、喉が渇きにくく、意識していないとうっかり水分不足になってしまいます。人間の体の約60%は水分です。毎日食べ物や飲み物などから2〜2.5リットルの水分を摂取し、尿や便、汗などで同じくらいの量の水分を体から排出しています。これは季節が変わってもあまり変化ありません。この時期、熱中症の危険は去りましたが、水分補給の重要性は夏場と変わってはいないのです。



## 理事会情報 (10月30日開催)

### 協議事項

- ①平成29年度JAしまね農業振興支援事業第3回(10月)申請について
- ②平成29年度しまね農業生き生きプランの承認について
- ③預託金利変更及び規程の一部改正について
- ④信用手数料(両替手数料)の改定について
- ⑤大口貸出金の承認について
- ⑥平成29年度9月末仮決算について
- ⑦平成29年度における業績還元の実施について
- ⑧平成29年度決算見込みの作成・取りまとめについて
- ⑨役員による担い手訪問対応等の基本的考え方について
- ⑩出資口数の減少(減口)の承認について

### 報告事項

- ①地域品目の販売手数料の設定について
- ②県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第2四半期)について
- ③JAしまねTAC活動に係る全国表彰について
- ④アグリミーティング2017の状況報告について
- ⑤米穀園芸情勢について
- ⑥雲南畜産総合センター第2四半期報告について

⑦県央地区畜産総合センター第2四半期報告について

⑧畜産経営の安定に関する法律の一部改正に係わる政省令等交付等のスケジュールについて

⑨畜産情勢について

⑩平成29年度第2四半期における余裕金の運用状況について

⑪貸出金回収に係る債権の一部償却について

⑫大口貸出先の報告について

⑬組合と理事との取引(契約)の報告について

⑭組合と理事との継続的取引の報告について

⑮平成29年21号台風にかかる報告について

⑯平成29年度9月末組合員の加入及び脱退の状況について

⑰平成29年度賦課課金徴収状況について(第1回報告)

⑱組合員アンケート調査の実施について

⑲2017秋期要求書の提出について  
運営体制検討プロジェクト報告  
運営体制検討プロジェクトからの答申について(報告)

その他① 農政をめぐる情勢について

その他② 青年・女性理事 活動報告等

# 知って納得JA

## —協同組合の力—

**Q** JAは、どうやって運営しているの?

**A** 総会や地区別座談会などを通じて、組合員自らが運営方針を決めています。

JAは、出資して、事業を利用する組合員が、自ら運営する協同組合です。JAの事業や運営の方針は、正組合員全員が集まって毎年開催する総会(もしくは総代会)で決定します。

さらに、事業や運営に組合員の声をより反映するため、多くの仕組みが設けられています。集落などを単位に地域別の座談会を開催し、JAの役職員と組合員が意見交換を行います。また、支所・支店では、運営委員会やふれあい委員会を組織化し、支所・支店の運営や活動を行います。このほか、職員が全組合員の自宅を訪問し、組合員や家族の声を聴く一斉訪問などを通じて、組合員による運営が行われています。

(監修=広島大学 助教 小林元)



### JAの運営に組合員の声を生かすための仕組み

#### 総会(総代会)

正組合員で構成され、JAの事業や運営の方針を決定します。正組合員が500人以上のJAでは、総会に代わり、正組合員の中から選ばれた総代による総代会を設けることができます。

#### 地域別座談会

集落などを単位に地域別に開催されます。JAの事業や運営について、JAの役職員と地域の組合員が意見交換を行います。

#### 一斉訪問

JAの職員が組合員宅を訪問し、意見や要望を直接聴いて事業に生かします。組合員とJA役職員の絆を深めるのに役立ちます。



耕そう、大地と地域のみらい。



# JAしまね統合2周年企画旅行

出雲縁結び空港より



直行チャーター便で行く!!



「はての浜」

## 久米島と宮古諸島5島巡り

(宮古島・伊良部島・下地島・池間島・来間島)

3日間

現地では  
JAしまね統合2周年企画として  
JA特産品が当たる  
抽選会を実施!!

2泊とも2名様より1部屋ご用意

旅行実施日 平成30年

2月21日(水)~23日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点、税込)

**149,800円**

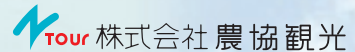
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。  
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

西部地区(島根おち・いわみ中央・西いわみ)より便利な送迎プラン

島根県西部地区より出雲縁結び空港まで往復8,000円(税込)にて送迎バスをご利用いただけます。(配車場所についてはお問い合わせ下さい)  
※送迎バスプラン希望者が20名様を上回る場合、運行されず。19名様以下の場合、お客様自身で出雲縁結び空港迄お越し下さい。

掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!



- |                                |                                |                                 |
|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| JALしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041 | JALしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305   | JALしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008  |
| JALしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699  | JALしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625   | JALしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820 |
| JALしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118   | JALしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 | JALしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587  |

### おさいふカードのポイント有効期限について

おさいふカードのポイントは有効期限を過ぎると無効になります。



平成27年に貯まったポイントは平成29年12月末で無効となります。有効期限が切れるポイントをご確認の上、お早めのご利用をお願いします。

### 有効期限が切れるポイントのご確認方法について

本年12月31日に有効期限が切れるポイントは、「JAしまね各支店窓口」または、店舗にある「店頭端末」にてご確認いただけます。

こちらをご確認ください



店頭端末でポイント確認する場合

カード挿入

### おさいふカードポイントのご利用方法について

#### ★お買物券との交換

JA店舗やAコープでご利用いただけるお買物券と交換いただけます。



#### ★特選品カタログ商品との交換



島根県内の特産品、家の光図書と交換いただけます。

### ポイントによる寄付募金がスタートしました。

総合ポイントを利用して、100ポイント以上・1ポイント単位で寄付・募金ができます。



### ★お買物の代金支払い(やすぎ・出雲・石見銀山地区本部の一部店舗)

貯まったポイントは「1ポイント=1円」として、1ポイントからお支払いにご利用いただけます。

・ポイントをご利用いただく場合は、古い積算ポイントから先に使用させていただきます。  
・詳細につきましては各事業所までお問い合わせください。



総合ポイントカード 全般のお問い合わせ



0120-031-207



## クリスマスツリー



ポテトサラダに抹茶を混ぜたクリスマスツリーです。好きな物でかわいく楽しく飾りつけしてみてください。沢山のごちそうを並べたいクリスマスにさっと出来上がる一品です。

### ●材料（4人分）

ジャガイモ…………… 200g  
(又はサツマイモ)  
人参…………… 5cm  
塩、こしょう…………… 少々  
マヨネーズ…………… 大さじ2  
抹茶…………… 少々  
コーン、ブロッコリー ハム、  
薄焼き卵など好きなもの適量

### ●作り方

- ①ジャガイモ(サツマイモ)は皮をむき、大きめに切り水にさらし、ラップに包むかレンジ対応容器で6分ぐらいレンジにかけ柔らかくする。(鍋でゆでてもよい)
- ②熱いうちに塩、こしょう、マヨネーズ、抹茶を混ぜながら潰し、ゆでた人参、コーンなど好きな具を混ぜる。
- ③サツマイモをツリーの形にする。周りにゆでたブロッコリー、星形人参、星形ハムなど好きなものを飾る。

## 和牛のローストビーフ(ローストビーフの野菜巻き)



和牛でローストビーフは、モモ肉や肩ロースがおすすめ。  
フライパン一つで豪華なローストビーフが出来上がります。やわらかくておいしいしまね和牛で、お客様のおもてなしの一品にしてみてください。

### ●材料（4人分）

牛肉ブロック肉…600g~800g  
塩…………… 適量  
こしょう…………… 適量  
サラダ油…………… 大さじ4  
カイワレ、キュウリ、ニンジンなど  
好きな野菜 適量  
ソース  
しょうゆ…………… 50cc  
みりん…………… 25cc  
日本酒…………… 25cc  
おろしにんにく…………… 大さじ1

### ●作り方

- ①牛肉は常温に戻してから、ブロックのまま塩、こしょうを多めにする。
- ②フライパンにサラダ油を入れ、焦げ目が付きそうほど全面を焼く。
- ③全体に焼き色が付いたら弱火にしてフタをして5~6分蒸し焼きにする。
- ④牛肉を取り出しアルミホイルでぴったり二重に巻き、ビニール袋に入れタオルか新聞に包み1~2時間置く。
- ⑤肉汁の残っているフライパンにソースの材料を入れ火にかけソースを作る。
- ⑥カットしてソースをかけそのまま食べるか、薄く切り野菜を巻き皿に盛る。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通(ののむらなおみち)先生に描いていただいています。

今月の表紙は、隠岐郡隠岐の島町の壇鏡の滝(だんぎょうのたき)です。日本の滝百選、全国名水百選にも選定されており、隠岐ジオパークを代表する滝です。岩壁に立つ壇鏡神社の両側に落差約40mで流れ落ちており、向かって右側が雄滝、左側が雌滝。表紙の絵は雌滝です。雄滝は、後ろへまわり裏側を見ることもできます。

### 編集後記

野々村直通先生には、毎月とても素敵な絵を描いて頂いています。表紙や裏表紙の縮小画を切り取って保存される方もいらっしゃるとう聞きしており、先生も喜んでいらっしゃると思います。販売もされていますので、お気に入りの絵がありましたら、ぜひお問い合わせください。(藤)



【今月の表紙の原画】  
レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。